



横浜訓盲学院 だより

第61号 (2024年7月号)

2024年6月30日発行

〒231-0847 横浜市中区竹之丸181番地 URL : <http://kunmou.jp/>

代表 TEL:045-641-2626 FAX:045-641-2627 E-mail : jimu@kunmou.jp

普通部 (直通) TEL/FAX:045-662-1710

理療科 (直通) TEL/FAX:045-662-1833



学院長 笹野 信治

希望を持って信じる

「神を愛する者たち、つまり、御計画に従って召された者たちには、万事が益となるように共に働くということを、わたしたちは知っています。」(ローマの信徒への手紙第8章28節)

入学式・始業式では、入学や進級を祝うように、校内の桜の花も一斉に咲きました。今年は、普通部に2名、理療科に5名の生徒が入学してきました。理療科の生徒の中には、急に視力が低下し、今までの仕事を辞めてきた人もいます。ハンディキャップを持ちながらも、それぞれが目標をもって勉強に励んでいます。ここに示された聖書は、「万事が益となる」という御言葉ですが、それは、信仰者に与えられる幸いや祝福がはっきりとここに告げられています。「万事が益となるように共に働く」。「万事」とは、わたしたちにとって嬉しいこと、好ましいことだけでなく、時には絶望するような悲しくて辛い、苦しいと思われる事も含めた全ての事が、やがては、私たちの益となるように共に働くと言っています。そのことを信じて、忍耐して苦しみ悲しみと戦っていくように私たちを励ましています。後になって、あの時の苦しみによって、今こういう恵みが与えられた、苦しみが結果的には益となったと気づかされるのが起ります。今は盲学校の英語の先生をしている私の教え子は、小さい時に目の病気で眼球摘出をしました。40歳を過ぎた今、彼は、「障がいはい、不便ではあるけれども、決して不幸ではない」と話しています。そして、「自分の人生を振り返ってみると、本当に幸せで充実しています。」と話してくれました。彼は、小さい頃から全てのことに前向きに考える性格でした。わたしたちも、すべてのことが、神さまの恵みであったと思える日が来ると信じ、希望を持ってこの困難な時を歩んでまいりたいと思います。



「その一羽さえ、神がお忘れになるようなことはない。」

ルカによる福音書 第12章 6節

《7月の聖句》わたしたちには見分けのつかない沢山いる雀の中の一羽さえ、神さまは目を留めて御覧になっておられます。それどころか、神さまはわたしたちの髪の毛の一本残らずご存じなのです。わたしたちが知らない自分自身のことも神さまは誰よりも一番よく知っていてくださいます。

入学式

4月8日(月) 暖かい春の香りに包まれるなか2024年度の入学式が執り行われました。

今年度は、小学部2名、中学部1名、高等部2名、専攻科生活科1名、専攻科保健医療科1名、専攻科理療科4名、計11名の新しい仲間を迎えました。入学生は凛とした表情で参加し、一人ずつ名前が呼ばれると元気に挨拶できました。入学式のあとは満開の桜の木の前で記念撮影しました。

新しい環境でのスタートに不安や緊張もあると思いますが、学院に関わる人たちの明るい笑顔がきっと行く手を照らしてくれると信じています。



改めまして入学生の皆さま、教職員・在校生一同、心から歓迎します。横浜訓盲学院へようこそ!



入学おめでとう会

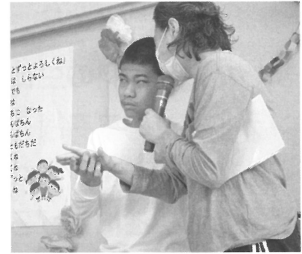
5月16日(木)に「入学おめでとう会」が行われました。普通部の全グループが講堂に集まり、新1年生と新しい仲間をあたたく迎えました。

中学部の生徒が司会を務め、会を盛り上げてくれました。新入生は一人ずつ前に出て、少し緊張しながら出身校や好きなことなどについて、先生と一緒に紹介しました。在校生は新しい友だちに興味津々でした。



みんなの紹介が終わると、友だちと手をつないで「ずっとずっとよろしくね」の手あそびを楽しみました。

最後に、司会者の変化球に富んだインタビューによる新しい先生の紹介がありました。グループを越えて、訓盲の仲間たちに親しむことができ、今年は友だちとたくさん交流する機会が増えるといいなと感じる会でした。



視覚障がい

ミニ知識

「目薬の差し方」

「病院で処方されている」「目のかわきが気になる」などの理由で目薬を差す機会があると思いますが、正しい目薬の差し方があることを知っていますか? 点眼前に、手をきれいに洗って清潔にします。頭を後方に傾け、もう一方の手で下瞼を軽く引っ張り、下げた下瞼をねらって1滴落とし、点眼後は静かに目を閉じ、目薬をなじませることだそうです。2滴、3滴と差す必要はないそうです。

目薬を差すとき、つい目を閉じてしまうなど苦手な人もいると思います。そのような人には、狙いを定めて目薬を差す「げんこつ法」がおすすめです。目薬を持つ利き手と逆の手で親指を中に入れてげんこつを作ります。げんこつの親指側を下まぶたに軽く押し付け、下まぶたを下へ引き下げて、目薬のボトルを持った手をげんこつに乗せ安定させて、ボトルを軽く押して点眼します。目薬のボトルが目やまつげに触れないように気をつけて点眼しましょう。

つい2滴3滴と点眼しがちですが、用法・容量を守り、差しすぎに注意しましょう。目薬が目から溢れたら、ポケットに入れてあるハンカチでなく、ティッシュペーパーなどでふきとってくださいね。

臨床実習のご案内

当学院の理療科では、授業の一環として、あんま・マッサージ・指圧の臨床を行っています。是非ご利用下さい。



料金 一律 1000円 時間 前半10:00～
(各50分ずつ) 後半11:00～

◆ご予約はお電話で! 当日の朝 8:50～9:15
電話 090-9009-5882

◆お問い合わせは理療科まで
電話 045-662-1833

★あんま・マッサージ・指圧★ [水・木・金曜日]

小中グループ

春の遠足

5月22日(水)、ちょうどよいお天気の中、八景島シーパラダイスに行ってきました。

往復は、スクールバスのチームと電車を利用するチームの二手に分かれ、シーパラのマスコット「シーパラ シー太」前で待ち合わせ、集合写真をカシャリ!

アトラクションはバタフライダー、メリーゴーランド、水の上を乗り物に乗って進むアクアライドⅡ、レッドバロン、バイキング、バブルシューティングを楽しみました。

昼食のお弁当とおやつを美味しくいただいた後に、お小遣いでシャカシャカフライドポテトやソフトクリームなどを買って食べることができました。みんな大満足!

復路も往路と同じ行程で元気に学院に戻ってきました!



運動会

6月1日(土)、2024年度の運動会が行われました。

今年も可愛い演技を披露した幼小グループの『みんなで一緒に!! トライ! エブリ



シング♪』、カッコいい演技をした小中グループの『みんなで“イス体操”』、迫力のある演技を見せた高/生グループの『サッカーダンス!!』など、どの幼児児童生徒も主役となるような素晴らしい演技がみられました。

また、幼稚園かけっこ「よいい、どん!」や、小学生～生活科、理療科で走った「鉄線走」もとても白熱しました。

応援に来ていただいた保護者の方々、温かいご声援ありがとうございました。



◎2024年度の主な行事予定◎

- 7月** 22日(月)～8月23日(金) 夏休み
8月 26日(月) 授業開始
9月 18日(水)～20日(金) 中学部修学旅行
 26日(木) 創立記念日(創立135周年)
10月 3日(木) 移動動物園
 10日(木) 前期終業式
 11日(金) 理療科 遠足
 11日(金)～15日(火) 秋休み

- 10月** 16日(水) 後期始業式
 22日(火)～23日(水) 小学部修学旅行
 26日(土) 理療科 オープンキャンパス
 理療科 解剖見学(予定)
11月 9日(土) PTAバザー
 12日(火)～15日(金) 普通部 学校公開
12月 7日(土) 普通部 第1次入学検定
 21日(土) クリスマス礼拝・祝会
 24日(火)～1月6日(月) 冬休み

思うツボ

暑い夏を乗り切るためのオススメ食材

今年は「夏日」が早くから観測され、夏バテになっている方も多いと思います。そこで、夏を乗り切る食材をお勧めしてみたいと思います。

夏野菜は、体を冷やす食材としてご存じだと思います。今回は、「味」で食材进行分类します。

旬の食材で「苦み」の食材は体の余熱を取り、「甘み」の食材は潤いを与え、「酸味」の食材は収斂(引きしめること)して汗の出すぎを防いでくれます。また、「苦み」にはデトックス効果もあり、暑い時期の頭痛やめまい・重だるさの原因となる体に溜まった悪い水分を出してくれる働きもあります。

上記の内容を考慮して、体調に合わせて意識的に食材を取りバランスの良い食事、体の内側から整えて暑い日乗り越えてみて下さい。

【参考】苦みの食材→ゴーヤ、珈琲、緑茶

甘みの食材→スイカ、トマト、きゅうり、レンコン、とうもろこし

酸味の食材→トマト、レモン



2023
年度
(令和5年度)

賛助金・寄附金並びに寄贈品・ご招待の御礼

平素より、本学院の視覚障がい教育にご理解ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

2023年度(2023年4月1日～2024年3月31日)における皆様からの賛助金・寄附金並びに各種ご招待は、下記の通りとなりましたので、ご芳名を掲げ感謝申し上げますとともに御礼申し上げます。

〔賛助金〕ご芳名(50音順、敬称略)

(個人)

秋谷実、秋山修一(秋山眼科医院)、安倍昭恵、精木勇、荒井勝彦、飯田英雄、飯塚千乃、荻岐良夫、石井和子、井田洋一郎、稲村茂、稲村ムツ、岩永英治、岩本日出雄、江藤潔、海老澤浩、太田裕子、大滝知秀、小笠原啓、沖野佳子、貝嶋麗奈、加古結子、堅田浩巳、片山哲雄、河尾豊司、菊島和子、菊島紘子、菊地百合子、菊地璃乃、木嶋利一、公文道幸、小林誠治、小林剛、小山学史、斎藤龍二、佐藤正幸、佐藤裕一、佐藤良徳、笹野信治、新川馨、杉山悠世、鈴木静一、滝沢秀安、武田和久、田中純子、田中房子、田沼圭介、田村英子、土屋博、土屋光芳、寺島修、徳永一好、徳永ますみ、中澤潤子、中野義男、中山勝矢、橋本一枝、橋本敬子、長谷川光正、古川千鶴、星登志雄、細田道子、松浦勝治、松尾三恵子、松村亮太郎、丸山恵子、光武アツ子、光武次郎、宮崎進、棟広隆、森田昌史、矢島保道、安田紀彦、梁瀬正彦、矢野榮子、吉澤美智子、吉見華歩、除村健俊、渡部清

(教会関係)

キリスト教保育連盟神奈川部会、宗教法人基督教兄弟団横浜教会、チャーチオブ・ゴッド川崎キリスト教会、戸塚ルーテル教会、日本キリスト教会横浜海岸教会、日本基督教団浦和東教会、日本基督教団海老名教会、日本基督教団大塚平安教会、日本基督教団鎌倉雪ノ下教会、日本基督教団港南希望教会、日本基督教団清水ヶ丘教会、日本基督教団新丸子教会、日本基督教団武山教会、日本基督教団田園江田教会、日本基督教団豊島岡教会、日本基督教団西千葉教会、日本基督教団藤沢北教会、日本基督教団松戸教会、日本基督教団三崎町教会、日本基督教団向河原教会、日本基督教団元住吉教会、日本基督教団横浜磯子教会、日本基督教団横浜大岡教会、シオン・キリスト教団 横浜シオン・キリスト教会、日本基督教団横浜指路教会、日本基督教団横浜中田教会、日本基督教団六角橋教会、日本ホーリネス教団辻堂キリスト教会教会学校、野毛山キリストの教会、横浜山手キリスト教会

(学校関係)

青山学院初等部、青山学院幼稚園保護者会、厚木幼稚園、伊勢原幼稚園、かえて幼稚園、霞ヶ丘幼稚園、一般財団法人神奈川県私立中学高等学校協会、上星川幼稚園、関東学院小学校、関東学院のびのびの園、関東学院六浦こども園、関東学院六浦小学校、関東学院六浦中学校高等学校、鶴沼めぐみルーテル幼稚園、呉竹鍼灸柔整専門学校、相模翠ヶ丘幼稚園、桜ヶ丘幼稚園、捜真小学校、捜真小学校PTA、捜真女学校中学部・高等学部、ドレーパー記念幼稚園、日本聾話学校、のぞみ学園、フェリス女学院中学校高校バザー部門、横須賀学院、横浜英和学院、横浜学院、横浜学院幼稚園、横浜訓盲学院PTA、横浜三育幼稚園、横浜雙葉小学校、横浜雙葉中学・高等学校

(その他団体)

アサヒタクシー(株)、アンクベル・ジャパン(株)、(株)安藤・間、(株)大山組建材、(株)オルウェスト、(株)加藤機器製作所、神奈川県青年商工会、神奈川県眼科医会、(株)光電社、(株)櫻井、(株)清光社、一般社団法人ダイアローグ・ジャパン・ソサエティ、(株)泰山園、東洋観光(株)、(株)松本木工、円徳建工(株)、宮崎ピアノ工房、(有)ヤマキ文具店、YOKOHAMA BELL ライオンズクラブ、横浜港南台ライオンズクラブ、横浜たちばなライオンズクラブ、渡辺商事(株)

〔特別寄附金〕

公益財団法人愛恵福祉支援財団

DTFA社

公益財団法人みずほ教育福祉財団

《賛助金》4,517,063円

《特別寄附金》844,898円

《合計》5,361,961円

〔現物寄附〕(50音順、敬称略)

●2022年度理療科卒業生(木製ハンガー 5個)

〔その他寄贈品〕(50音順、敬称略)

赤堀智見、(有)伊勢原ときわ堂、ENEOS不動産(株)、社会福祉法人桜雲会、大阪大学歯学部付属病院障害者歯科治療部、OTSUKAまんがヘルシー文庫事務局、関東学院六浦小学校、(株)光電社、サントリービバレッジソリューション、支援学校若葉高等学園、公益財団法人すこやか食生活協会、鈴木仁、(株)ゼネラルアサヒ、(株)ソーグッド、(株)泰山園、田中房子、TBSラジオ編成局編成部、公益財団法人東京応化科学技術振興財団、東京ガス(株)、豊橋としひ会、(株)ニッポン放送、公益財団法人日本テレビ小鳩文化事業団、日本放送協会、日本盲教育史研究会、社会福祉法人日本ライトハウス情報文化センター、ねむの木学園、一般社団法人の家協会、文藝春秋企画出版部、毎日新聞社点字毎日、発砲印刷やまゆりの会、NPO法人藤枝光文庫、文化放送、むつき会、公益財団法人横浜市緑の協会、横浜市麦田地域ケアプラザふれあいサロン、横浜女学院中学校高等学校、六点的会

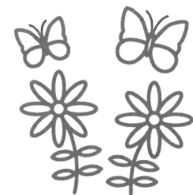
〔公演・体験等〕

●日本フラワーデザイナー協会(花の宅配便事業)

●横浜マリノス(株)(サッカー教室)

〔ご招待〕

●東京海上フィルハーモニックオーケストラ(東京海上フィルハーモニック定期演奏会)



●ご協力をお願い● (2024年度 賛助会員)

私どもの視覚障がい教育にご理解いただき、ご支援下さる団体・個人の方々の賛助会員を募らせていただいております。よろしく願い申し上げます。

〔年会費〕法人(1口)10,000円／個人(1口)1,000円(口数は問いません)

〔お支払い方法〕・郵便振替

〔加入者名〕学校法人横浜訓盲学院(口座番号00200-5-40861)

・現金

〔その他〕会費以外に寄附金も有難くお受けいたします。

〔お問合せ先〕横浜訓盲学院 事務部 TEL.045-641-2626